

第25回人間サイズのまちづくり賞 受賞者概要

知事賞

- まちなみ建築部門

NATURE STUDIO (神戸市兵庫区)

武庫女ステーションキャンパス (西宮市)

かこてらす・加古川市東消防署 (加古川市)

川西市立総合医療センター (川西市)

- まちづくり活動部門

杭瀬地域まちなか再生協議会 (尼崎市)

一般社団法人宝塚まち遊び委員会 (宝塚市)

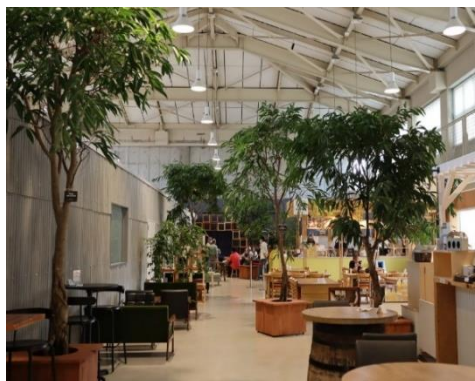
- 花緑部門

有限会社エヌエスグリーン(株式会社日本触媒特例子会社) (姫路市)

熊谷 哲・熊谷 恵子 (姫路市)



▲特徴ある顔を演出する「フレームグリッド」



▲体育館はフードホールに再生



▲食べられる植物を植えた広場



▲理科室や図書館だった場所を水族館として再生

事業主 株式会社村上工務店
設計者 株式会社ティーハウス建築設計事務所
施工者 株式会社村上工務店

施設概要

- 廃校となった小学校を、教室等の面影を残しつつ、水族館、飲食店、ショップなど幅広い世代が利用できる施設に再生
- 外装の一部に木材を組合せた「フレームグリッド」を導入し、地域の新たなシンボルとして特徴ある顔を演出
- 地域住民だけでなく、観光客も呼び込める新たな機能を付加し、地域の雇用の場も創出

武庫女ステーションキャンパス (西宮市)



▲開放的な外観は、まちなみを明るく、さわやかにしている



▲オリーブの木をシンボルツリーとした円形広場

事業主 学校法人武庫川学院
設計者 武庫川女子大学 三好 庸隆
武庫川女子大学 岩田 章吾
株式会社PPI計画・設計研究所
施工者 株式会社ハンシン建設

施設概要

- 鉄道会社と地域の大学が連携し、駅高架下に地域拠点機能を持つ大学キャンパスを整備した新たな取組
- 誰もが立ち寄れる駅前café、オープンなロビーを持つ銀行等により、地域の方や学生の居場所づくりや交流等を実現
- 周辺店舗等と「鳴尾エリアマネジメント連絡会」を組織し、本施設を拠点としたまちづくり活動を展開



▲開放的な銀行ロビー



▲駅前公園計画と呼应したデザイン

かこてらす・加古川市東消防署 (加古川市)



▲隣接するハス池と視覚的なつながりを生み出す配置計画



▲地域交流スペースを兼ねたエントランスホール

事業主 加古川市
設計者 株式会社小野設計
施工者 前川建設株式会社

施設概要

- 子育てプラザ・公民館の複合施設「かこてらす」と消防署を一体的にデザインし、全体として統一感のある「ひとつながりのまちなみ」を創出
- カフェや図書コーナーを併設したエントランスホール、消防車両や訓練風景が見えるスペースを設けるなど、多世代の交流や防災意識を促進
- 消防署との合同イベントや、プロムナードを利用した展示イベントなどを積極的に開催



▲溜まり空間となるプロムナード



▲展示コーナーを設けた消防署

川西市立総合医療センター (川西市)



▲自然が一体となった医療環境を創出するガーデンホスピタル



▲患者用クロス廊下の中央に位置するスタッフステーション

事業主 川西市
設計者 清水建設株式会社一級建築士事務所
施工者 清水建設株式会社

施設概要

- 川西の豊かな自然を取り込み、隣接する公園と一体となった医療環境を創出する「ガーデンホスピタル」
- スタッフの業務効率の向上にも寄与する全室個室の病棟プランである「トリプルクロス病棟」を新たに提案
- すべての病室から周辺の豊かな自然や質の高い屋上緑化を眺めることができる平面計画を実現



▲眺望と採光が確保された個室



▲公園と一体的につながるテラス

杭瀬地域まちなか再生協議会 (尼崎市)



▲活動拠点として新たに整備した「二号店」



▲つまみぐいラリー



▲空家・空き店舗のリノベーション



▲地域の公園の芝生整備

代表者 宮崎 健一

活動概要

- 地域住民によるDIYリノベーションにより、空き店舗を協議会の拠点となる古本屋「二号店」をオープンするなど空き物件の再生により地域を活性化
- 利用者の少ない公園の遊具ペイントや芝生化をイベント形式で行い地域交流や公園の利用を促進
- 商店街の認知度を高め、地域内外からの新たなプレーヤーの参入を目指して、定期的にイベントを開催することで、関係人口の増加に寄与



▲旧松本邸一般公開



▲旧山田家住宅一般公開



▲宝塚ファミリーランド思い出写真展



▲村野藤吾建築の魅力とガイドツアー

代表者 平野 弥生

活動概要

- 宝塚市内に残る歴史的建築物やまちの歴史を「地域の文化資源」として活用する活動を展開
- 地域団体や行政等と連携し、宝塚市内に残る文化財等歴史的建造物の保全や利活用を促進するため、登録文化財の公開やガイドツアー等を実施
- 既に失われた建物や風景の写真を募集・展示することで、まちの歴史と文化を再認識し世代間の交流とまちのアイデンティティを考える機会を提供



▲のじぎく保存園



▲配布先で植栽されたのじぎく

代表者 田口 哲矢

活動概要

- 絶滅の危機にあった兵庫県花「ノジギク」を救済するため、自社の敷地内で50年以上にわたり、163種を自主栽培
- 行政と協力し、毎年2～3万株の苗を県内の自治会、福祉施設等へ無償配布
- 配布先では、育てられたノジギクの鑑賞会などが開催され、地域内でのコミュニケーションに寄与



▲のじぎくの苗配布の様子



▲苗配布後の開花

熊谷 哲・熊谷 恵子 (姫路市)



▲里山ガーデンで遊ぶ保育園児たち



▲自宅庭「熊谷ガーデン」でのオープンガーデン



▲里山ガーデンでの課外活動



▲サクラまつり

活動概要

- 自宅裏の広大な里山を購入・整備した「里山ガーデン」を常時地域に公開し、遊び・学習・交流の場として提供
- 自宅の庭をナチュラルガーデンとして四季折々の花を植栽し、毎年春と秋の2回、オープンガーデンを開催
- 学生と協働したバタフライガーデン（蝶を呼ぶ花壇）等の整備や講習会の開催など、自然環境学習を支援